

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長久手市児童発達支援センター こぐまっこ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51人	(回答者数) 43人
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 20人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんが安心して活動に参加できるよう支援し、保護者の方にも安心感をもって利用していただけるよう取り組んでいます。	・生活環境や活動スペースの安全性・衛生面に細心の注意を払い、加えて一人ひとりの特性に合わせた活動内容となるよう配慮しています。	・令和8年度は指定管理者の入れ替えに伴い、現在の運営体制は終了となります。次の体制へ今までの取組が円滑に引き継げるよう進めていきます。
2	・親子通園では、保護者が子育てに関する不安や悩みを気軽に話せるよう、日常の関わりの中で安心して相談できる環境づくりに努めています。保護者と子どもと一緒に過ごす時間大切にしながら、家庭と園が自然につながる関係を築いています。	・日々のやり取りを丁寧に行ないます。登園・降園時の短い会話を大切に、保護者が話しやすい雰囲気意識して作っています。 ・子どもの姿を具体的に共有しています。活動中の様子や小さな成長をこまめに伝えることで、保護者が安心して相談できる関係を育んでいます。 ・保護者同士の交流を促しています。グループ活動や自由遊びの時間を活用し、自然に情報交換ができる場を設けています。 ・職員が積極的に声をかけています。表情や様子から気になる点を感じ取った際には、さりげなく声をかけ、相談につながるきっかけをつくっています。	・令和8年度は指定管理者の入れ替えに伴い、現在の運営体制は終了となります。次の体制へ今までの取組が円滑に引き継げるよう進めていきます。
3	・ペアレントトレーニング6回、保護者交流会6回、懇談会2回があり、保護者が悩みや子育てのヒント、相談などの話をする機会が多くある。	・保護者と子育ての悩みについて、話し合う機会が多く、また医療機関や他事業所、今後の就学に関する情報共有の場も設けています。	・令和8年度は指定管理者の入れ替えに伴い、現在の運営体制は終了となります。次の体制へ今までの取組が円滑に引き継げるよう進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・車の運転免許がない方、車を所持していない方などがみえ、児童発達支援センターへのアクセスが少ないため、施設利用が難しい場合がある。	・送迎は今年度もハイエース・プリウスの2台で送迎しています。そのため、最大9名までしか送迎できない状況です。	・令和8年度からは送迎バスをもう一台設置してもらえることとなった。そのため、車の運転免許がない方、車を所持していない方が、施設の利用が可能になります。
2			
3			